

会 議 録

1 会議名

令和８年度第４回清里区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○報告事項（公開）

- ・市民の消火栓使用について

○自主的な審議（公開）

- ・坊ヶ池周辺の資源（自然や施設）を活用した地域の活性化について
- ・子育て世帯、高齢者世帯が安全で安心して暮らせる環境の整備について

3 開催日時

令和８年８月２７日（木）午後６時３０分から午後７時まで

4 開催場所

清里コミュニティプラザ 多目的ホール

5 傍聴人の数

１人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）

- ・委 員：松永会長、竹田副会長、江口委員、酒井委員、佐々木委員、中村委員、保坂委員、堀川委員、本山委員、吉原委員
- ・事務局：清里区総合事務所 米山所長、木南次長、力久市民生活・福祉グループ長、西巻教育・文化グループ長、近藤班長、小川主任

8 発言内容

【議題：報告事項 市民の消火栓使用について】

■ 説明

- ・事務局が資料１に基づき説明

■ 質疑応答

- ・質問／意見：市民の消火栓使用に係る方針は、市として推奨するものか。

→回答：市民による消火活動を推奨するものではない。地域住民が自ら行動したいという意向を踏まえ、安全確保のために訓練等の留意事項を示した資料である。

- ・ 質問／意見：必要な消防資機材は、町内会や自主防災組織が調達するとのことであるが、無理に調達しなくてもよいか。消防団の資機材を使用することで足りると思うが。

→回答：町内会や自主防災組織で一律に資機材を調達してほしいということではない。地域の実情に応じて、必要であれば自分たちで調達・管理した上で行ってほしい。

消防団が保有している資機材は、あくまで消防団が使用するためのものであり、消防団の活動に支障があってはならない。消防団の活動に支障が生じず、消防団と自主防災組織の間で十分に意思疎通が可能な場合に、現場の状況に応じてある程度、臨機応変に対応することは否定するものではない。

【議題：自主的な審議】

(グループごとに前回議論した内容を報告)

■ 坊ヶ池周辺の資源（自然や施設）を活用した地域の活性化についての報告概要

- ・ 前は出席委員が3人だったため、これまで議論の内容を確認した。
- ・ 本日は、清里まちづくり振興会に写真コンテスト実行委員会の設立を打診していることから、その結果をグループ内で共有し、今後の方向性を決めていきたい。

■ 子育て世帯、高齢者世帯が安全で安心して暮らせる環境の整備についての報告概要

- ・ 前は、高齢者世帯に係る屋根雪下ろしなどの除雪費用について議論を行ったが、結論が出なかったため、本日も前回同様に議論を進め、結論をまとめていきたい。

9 問合せ先

清里区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL：025-528-3111(内線225)

E-mail：kiyosato-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。